

京阪式敬体アクセント資料

当資料は、京阪式アクセントにおける「～です」「～ます」文、すなわち敬体文を京阪式アクセントで発音する場合の用例を常体(非敬体・いわゆるタメ語体)文と共に紹介するものである。L は低い、H は高いアクセントを示すものとし、以下にアクセント表記の例を紹介する。

アクセント例	京阪式アクセント	参考：東京式アクセント
平板アクセント： アクセントが全て高いもの	<u>「かくにん」</u> HHHH	<u>「かくにん」</u> LHHH (京阪式と同様に平板であるが、東京式の平板は最初の拍が低い)
頭高アクセント： アクセントが先頭に来るもの	<u>「うごいた」</u> HLLL	<u>「うごいた」</u> LHLL (第2拍が高い)
低起アクセント： アクセントが末尾に来るもの (後ろに別の語彙が付くと拍が更に後ろへずれる場合もある)	<u>「なんで？」</u> LLH	<u>「なんで？」</u> HLL (頭高)
その他（山型など）：	<u>「たべた」</u> LHL	<u>「たべた」</u> HLL (頭高)

単語のアクセント分類は、現代の土佐・阿波・紀州南部及び室町時代～幕末以前の京都並びに大阪における伝統的アクセントに基づく。分類されたアクセントの下に括弧内で併記されたアクセントは、現代の京阪地域で主流となっているアクセントを示している。この地域差は、主に幕末近辺に近畿中央部で大幅なアクセント型区別の消滅・簡素化が起こった際に生まれたものである。

以下に一例を示す。

単語例	伝統的京阪式アクセント	現代京阪地域におけるアクセント
上がる・上がらん	HHH・HHHH	HHH・HHHH
下がる・下がらん	HLL・HHLL	

伝統的な京阪式アクセントにおいては、「上がる・上がらん」「下がる・下がらん」といったようなアクセント区別が存在し、現在も南四国等には現存しているが、京都や大阪の中心部では区別が消滅している。この為、地域差を考慮してアクセントを併記する事とした。次ページより、具体的分類と用例を紹介する。

京阪式敬体アクセント「～ます」編

2 拍動詞の敬体アクセント

敬体・敬体否定 アクセント	動詞	常体・常体否定 のアクセント	常体否定 ～へん/ひん形 のアクセント	敬体における単語例
HHH ・ HHHH (着ます・ 着ません類)	2 拍 1 段	HH・HH (着る・着ん類)	HLLL 着いひん	着ます します 寝ます
		LH・LH (来る・来ん類)	出えへん	来ます 出ます 見ます
HHHH ・ HHHHH (言います・ 言いません類)	2 拍 5 段	HH・HHH (言う・言わん類) 行く・行かん	HLLL 言わへん 言えへん 行かへん 行けへん	言います 行きます 生みます 置きます 買います 咲きます 積みます 泣きます 乗ります 塗ります 退きます※ 穿きます 拭きます 減ります 巻きます 増します※ 向きます やります 止みます 呼びます 湧きます 等
		HL・HLL (おる・おらん類)	居らへん 居れへん	居(お)ります
LLLH ・ LLLHH (LLLLH) (合います・ 合いません類)		LH・HLL(LLH) (合う・合わん類) 打つ・打たん	LHLL 合わへん 合えへん 打たへん 打てへん	合います 編みます あります 打ちます 書きます 切ります 住みます 立ちます 付きます 研ぎます 取ります なります 吐きます 干します 待ちます 蒸します 持ちます 読みます 等

※「退く(のく)」「増す」については、LH・LLH 類の型に変化した地域も見られる（京都・大阪等）

3 拍 1 段動詞の敬体アクセント

敬体・敬体否定 アクセント	動詞	常体・常体否定 のアクセント	常体否定 ～へん/ひん形 のアクセント	敬体における単語例
HHHH ・HHHHH (上げます・ 上げません類)	3 拍 1 段	HHH・HHH (上げる・上げん類) 入れる・入れん 変える・変えん 負ける・負けん	HLLL 上げへん 入れへん 変えへん 負けへん	上げます 当てます 荒れます 入れます 植えます 売れます 変えます 借ります 染めます 告げます※ 退けます※ 止めます 貼れます 負けます 焼けます 寄せます 揺れます 割れます 等
		HLL・HLL (HHH・HHH) (出来る・出来ん類)	できひん でけへん	出来ます
LLLH ・LLLHH (LLLLH) (飽きます・ 飽きません類)		HLL・HLL (LLH・LLH) (飽きる・飽きん類) 受ける・受けん 切れる・切れん 食べる・食べん 見せる・見せん 分ける・分けん	LHLL 飽きひん 受けへん 切れへん 食べへん 見せへん 分けへん	飽きます 受けます 起きます 書けます 切れます 覚めます 締めます 責めます 食べます 付けます 閉じます 撫でます 逃げます 脱げます 述べます 禿げます 晴れます 増えます ボケます 混ぜます 見えます 見せます 漏れます 分けます 等

※「告げる」「退ける」については、LLH・LLH 類の型に変化した地域も見られる（京都・大阪等）

3 拍 5 段動詞の敬体アクセント

敬体・敬体否定 アクセント	動詞	常体・常体否定 のアクセント	常体否定 ～へん/ひん形 のアクセント	敬体における単語例
HHHHH ・HHHHHH (上がります・ 上がりません類)	3 拍 5 段	HHH・HHHH (上がる・ 上がらん類) 埋まる・埋まらん つづく・つづかん わらう・わらわん	HHLLL 上がらへん 上がれへん 埋まらへん 埋まれへん つづかへん つづけへん わらわへん わらえへん	上がります 当たります あらいます いたします 浮かします うたいます 埋まります おくります おどります かおります かざります かたります 気取ります くくります さそいます しまいます すすみます 染まります ためします ちがいます つづきます はずします ひろいます まなびます まわります 向かいます もらいます よぎります わたします わらいます 等
		HLL・HLLL (HHH・HHHH) (あおぐ・ あおがん類) 合わす・合わさん 高知は原型保持 ↓ 京都は一部上段と統合 HHH・HLLL 大阪は上段と全て統合 HHH・HHHH	合わさへん 合わせへん かなわへん かなえへん ねがわへん ねがえへん わからへん わかれへん	あおぎます 合わします いどみます 起こします おもいます およぎます おろします かないます かわきます くだきます さまします 反らします 出会います とおります なさります ねがいます はまります ふくみます まじります やすみます やといます わかります 等
LLLLH ・LLLLHH (LLLLLH) (あそびます・ あそびません類)		LLH・LLLH (あそぶ・ あそばん類) かくす・かくさん	LHLLL あそばへん あそべへん かくさへん かくせへん	あそびます あるきます かくします だまります はいります まいります 等

京阪式アクセントは、

「ます」の「す」の時に下がらない（=HL にはならない）のがポイント！

平板アクセントの敬体表現（～ます）＋終助詞等の組み合わせ例

します＋か？	HHH-H
します＋かね？	HHH-LL、HHH-LH
します＋ので	HHH-LL
します＋ね	HHH-H
します＋のでね	HHH-LLH
します＋よね？	HHH-LH
します＋わ	HHH-L
します＋が	HHH-L

※「出来ます」「上がります」など平板アクセントの敬体表現に応用可

低起アクセントの敬体表現（～ます）＋終助詞等の組み合わせ例

はいります＋か？	LLLLL-H
はいります＋かね？	LLLLH-LL、LLLLH-LH
はいります＋ので	LLLLH-LL
はいります＋ね	LLLLL-H
はいります＋のでね	LLLLH-LLH
はいります＋よね？	LLLLH-LH
はいります＋わ	LLLLH-L
はいります＋が	LLLLH-L

※「書けます」「読めます」など低起アクセントの敬体表現に応用可

勧誘表現「～ましょう」、否定形「～ません」についても同様である。

その他組み合わせ例

低起アクセント+いたします LH・LLH・LLLH 等	よろしくおねがいたします HHHL+LLLH+HHHHH→HHHL-LLLL-HHHHH おあずかりいたします LLLLH+HHHHH→LLLLL-HHHHH
平板アクセント+いたします HH・HHH・HHHH 等	れんらくいたします ほうこくいたします HHHH-HHHHH
末尾がLのアクセント+いたします (名詞の場合)	たいしょいたします (対処) HLL-LLLLL
末尾がLのアクセント+いたします (疑問形の場合)	とまとにいたします？ LHL-L-HHHHH もしくは、LHL-L-LLLLH※

※低起アクセントの遅上がりが更に起こった場合

使用例

お世話になります	LHL-L-LLLH
お世話になっております	LHL-L-LLL-HHHH (LHL-L-LLL-LLLH とも)
お願いします	LLLL-HHH (LLLL-LLH とも)
お願い出来ますか？	LLLL-HHHH-H (LLLL-LLLL-H とも)
こちらでやりましょうか？	LLLL-HHHHHH
こちらでございます	LLL-L-HHHHH
せんえんになります (千円)	LHLL-L-LLLH
そらいけませんわ	HH-HHHHH-L
見れますよね？	LLH-LH

過去形「～ました」のアクセントについては、

HLL の地域（大阪ほか）と LLL の地域（京都ほか）が見られる。

京阪式敬体アクセント「～です」編

低起アクセント＋です LH・LLH・LLLH 等	まだです きょうです 木です (きいです) LLLH (LHLL※も聞かれる) さすがです ひだりです LLLLH (LLHLL※も聞かれる)
平板アクセント＋です HH・HHH・HHHH 等	みぎです 気です (きいです) HHHH (HHLL※も聞かれる) あしたです あいだです HHHHH (HHHLL※も聞かれる)
末尾がLのアクセント＋です ※	いえです いぬです かぎです HLLL あたまです あまりです かがみです HHLLL/LHLLL いつもです バナナです トマトです LHLLL きょうとです はたちです ひろしです HLLLL
※強調系として～LH も聞かれる	

「ます」と同様に「す」で下がらないのがポイント！

敬体表現（～です）＋終助詞等の組み合わせ例

です＋終助詞等	「～です」の直前が 平板の場合	直前が 低起の場合※	直前が L の場合
です＋か？	HH-H	HH-H、LL-H	LL-H
です＋かね？	HH-LL、HH-LH	LH-LL、LH-LH	LL-LL、LL-LH
です＋ので	HH-LL	LH-LL	LL-LL
です＋ね	HH-H	HH-H、LL-H	LL-H
です＋のでね	HH-LLH	LH-LLH	LL-LLH
です＋よね？	HH-LH	LH-LH	LL-LH
です＋わ	HH-L	LH-L	LL-L
です＋が	HH-L	LH-L	LL-L
※直前がL の場合と同じ形も多く聞かれる			

使用例

まだです	LL-LH/LH-LL/LH-LH
右ですので	HH-HH-LL
毎日ですわ	LLHL-LL-L
食べてるみたいですね	LLLL-HLL-LL-H
管轄外ですかね？	HHHHLL-LL-LH↘

その他敬体表現関係

ください	HHLL
よろしい	HHLL
いらっしゃる	HHHHH (HHHLL とも)

番外編：東京式アクセント（アナウンス語）との比較

動詞	京阪式アクセント	東京式アクセント
します・ しません	<u> </u> <u> </u> します・しません HHH・HHHH	<u> </u> <u> </u> します・しません LHL・LHHL
言います・ 言いません	<u> </u> <u> </u> 言います・言いません HHHH・HHHHH	<u> </u> <u> </u> 言います・言いません LHHL・LHHHL
なります・ なりません	<u> </u> <u> </u> <u> </u> なります・なりません／なりません LLH・LLHH/LLLLH	<u> </u> <u> </u> なります・なりません LHHL・LHHHL
構いませんか？	<u> </u> かまいませんか？ HHHHHHH？	<u> </u> <u> </u> かまいませんか？ LHHHHLL↗？
右ですので	<u> </u> みぎですので HHHHLL	<u> </u> みぎですので LHHLLL

アナウンス語などで用いられる東京式アクセントの場合、「です」「ます」は基本的に「す」で下がるのが京阪式アクセントとの明白な違いです。また、近畿や四国などの京阪式アクセント語圏において、語尾での「です」「ます」の「す」は「su」のようにクッキリと発音するのが特徴ですが、アナウンス語やNHK共通語、また首都圏方言等の場合、語尾の「す」はハッキリとは発音せず、「s」のような発音をするのが自然とされています。

たまに両者を混同し、「す」をクッキリさせたまま東京式アクセントのような発音をされる（「ですう」の様に）方もいらっしゃいますが、その発音はまるでサザエさんに登場する”タラちゃん”が会話で発するものに近く、東京圏の方からも近畿圏の方からも不自然に聞こえてしまう可能性はあるでしょう。

一方、近畿・四国圏でも無声化は進行しており、言葉全体が完全なる京阪式アクセントでありつつも語尾の「す」の発音が「s」となる人も最近は多く見られ、こちらはあまり不自然な印象を受けません。不思議な現象ですが、無声化はアクセントほど「耳心地」に影響を与えないという事かも知れません。